

歩掛参考見積募集要領

有資格業者 各位

独立行政法人水資源機構

吉野川上流総合管理所長 津久井 正明

次のとおり、池田ダム堆砂状況調査等業務（仮称）の歩掛参考見積を募集します。

令和 7 年 11 月 19 日

1. 目 的

この歩掛参考見積の募集は、吉野川上流総合管理所で予定している池田ダム堆砂状況調査等業務の積算の参考とするための作業歩掛を募集するものです。

なお、この参考見積書をご提出いただいたことで、業務の指名又は競争参加資格をお約束するものではありません。

ご提出いただいた参考見積書は、業務積算の目的以外には使用いたしません。

2. 参考見積書提出の資格

- (1) 水資源機構における令和 7・8 年度一般競争（指名競争）参加資格業者の認定を受けていることとします。
- (2) 営業に関し法律上必要とされる資格を有していることとします。
- (3) 水資源機構から「工事請負契約に係る指名停止等の措置要領」（平成 6 年 5 月 31 日付け 6 経契第 443 号）に基づき、吉野川水系関連区域において指名停止を受けていないこととします。

3. 参考見積書の提出等

参考見積書は、次に従い提出してください。

- (1) 参考見積書は、作業項目毎に必要な技術者、資機材の人数等を記載し提出して下さい。
- (2) 提出期間：令和 7 年 11 月 28 日（金） から令和 7 年 12 月 5 日（金） まで
ご持参いただく場合は、上記期間の土曜日、日曜日及び祝日を除く毎日、午前 9 時から午後 4 時まで
- (3) 提出先及び宛名

独立行政法人水資源機構 吉野川上流総合管理所長 津久井 正明 宛

【担当】経理課 福井（フクイ）、松岡（マツオカ）、石川（イシカワ）

〒778-0040 徳島県三好市池田町西山谷尻 4235-1

電話：0883-72-2050 F A X：0883-72-0727

メールアドレス：nyukei_ikeda@water.go.jp

(4) 提出方法

書面は持参、郵送、FAXまたはメールのいずれかの方法によりご提出ください（押印省略の場合は、押印省略の事項を必ずご記載ください）。

(5) 見積有効期限

令和9年3月31日までとし、必ず記載してください。

(6) 提出様式

様式は自由としますが、別紙1を参考に以下の内容を必ず記載してください。

- ・文書番号（吉上池第23号）
- ・宛名（独立行政法人水資源機構 吉野川上流総合管理所長 津久井 正明）
- ・提出者名（代表者又は代表者から委任を受けた者）と押印
- ・提出日

なお、押印を省略する場合は、余白等へ以下の事項を必ず記載してください。

- ・本件責任者（会社名・部署・氏名）
- ・本件担当者（会社名・部署・氏名）
- ・連絡先1 ※代表電話等
- ・連絡先2 ※部署直通やご担当者の携帯番号等

4. 参考見積内容

(1) 業務基本条件

本業務は、堆砂量及び河床形状を把握するために池田ダム貯水池の深淺測量及び河川横断測量を行うとともに、堤体等観測、アユ遡上数調査等を実施するものとします。

(2) 業務作業項目、作業内容及び作業数量

別添資料ー1及び2のとおりとします。

(3) 業務費の構成と歩掛見積徴取範囲

- ① 本歩掛参考見積を適用する業務費の構成は、当機構が別に制定する「積算基準及び積算資料（各編）」（以下「基準書」という。）によるものとします。
- ② 歩掛参考見積徴取範囲は、基準書で定義されている直接人件費のうち、上記（2）「業務作業項目、作業内容及び作業数量」を実施する為に必要な作業員、資機材の人数等を徴取します。

(4) 技術者の職種と定義

国土交通省が公表している「令和7年度設計業務委託等技術者単価」における「技術者の職種区分定義」によるものとします。

(5) 見積条件

見積価格は、消費税抜きとしてください。また、見積書に消費税を含んでいない旨を記載してください。

5. 募集要領に対する質問

この募集要領に対する質問がある場合においては、次に従い、書面により提出してください。

- (1) 提出期間：令和7年11月20日（木） から令和7年11月25日（火） まで
持参する場合は、上記期間の土曜日、日曜日及び祝日を除く毎日、午前9時から午後4時まで
- (2) 提出場所：3. (3) に同じ。
- (3) 提出方法：3. (4) に同じ。
- (4) 提出様式：様式は自由としますが、別紙2を参考に以下の事項を必ず記載してください。

- ・文書番号（吉上池第23号）
- ・宛名（独立行政法人水資源機構 吉野川上流総合管理所長 津久井 正明）
- ・提出者名（代表者又は代表者から委任を受けた者）と押印
- ・提出日
- ・質問事項

なお、押印を省略する場合は、余白等へ以下の事項を必ず記載してください。

- ・本件責任者（会社名・部署・氏名）
- ・本件担当者（会社名・部署・氏名）
- ・連絡先1 ※代表電話等
- ・連絡先2 ※部署直通やご担当者の携帯番号等

6. 質問に対する回答

質問に対する回答書は、次のとおり閲覧に供します。

- (1) 閲覧期間：令和7年11月27日（木） から令和7年12月5日（金） まで
- (2) 閲覧方法：吉野川上流総合管理所ホームページの新着情報に掲載します。

吉野川上流総合管理所ホームページ

<https://www.water.go.jp/yoshino/ikeda/index.html>

7. 参考見積書作成及び提出に要する費用

恐れ入りますが、参考見積提出者のご負担とさせていただきます。

8. 問い合わせ

ご提出いただいた参考見積書の内容について、こちらより問い合わせをさせて頂くことがあります。

※様式は自由となりますが、以下の例に記載する事項は必ず記載をお願いいたします。

印

見 積 書

工種	種別	細別	規格	単位	数量
堆砂測量	深淺測量 (ナローマルチビーム)	艀装テスト		式	1
		深淺測量		km2	1.1
		データ整理		km2	1.1
	結果整理	縦横断面図作成		式	1
		堆砂量算出等		式	1
堤体等観測	堤体等観測	右岸法面クラック計測		式	1
水位計計測	水位計計測	水位計及び大気圧計データの回収		式	1

・連絡先 2 :

別紙 2 <質問様式例> (例)

令和 年 月 日

独立行政法人水資源機構

吉野川上流総合管理所長 津久井 正明 殿

住 所
会 社 名
代 表 者 氏 名

印

質 問 書

(件 名) 吉上池第 2 3 号にかかる参考見積案件

番号	質 問 事 項
①	~~~~~。
②	~~~~~。
③	~~~~~。
	※以下は押印省略の場合に記載してください。 ・本件責任者（会社名・部署・氏名）： ・本件担当者（会社名・部署・氏名）： ・連絡先 1： ・連絡先 2：

- 注) 1. 質問事項ごとに番号を付するものとする。
2. 質問は代表者及び代表者から委任状により委任を受けた者が行うものとする。
3. 持参・郵送で質問事項が 2 ページ以上に及ぶ場合、袋とじの上、割り印を行うものとする。

※本様式は、水資源機構本社 HP の以下に掲載しています。

<https://www.water.go.jp/honsya/honsya/keiyaku/service/ukeoi/kouji/kouji.html>

(ホーム → 入札・契約情報 → 様式提供サービス → 請負契約等において使用する様式 → 建設工事に係る様式 → 番号 1 0)

別添資料－１

見積仕様書

第１節 業務目的

本業務は、堆砂量及び河床形状を把握するために池田ダム貯水池の深浅測量及び河川横断測量を行うとともに、堤体等観測、アユ遡上数調査等を実施するものとします。

第２節 測量位置及び点検範囲

測量位置及び点検範囲は、
「別添資料－１－１ 池田ダム貯水池平面図」
「別添資料－１－２ 右岸法面クラック計測範囲図」のとおりとする。

第３節 深浅測量

３－１ 工程制限

深浅測量は、出水期（７月１日～１０月１０日）以降に実施するものとします。

３－２ 作業計画 略

３－３ 現地踏査 略

３－４ 深浅測量

深浅測量は、「別添資料－１－１ 池田ダム貯水池平面図」に示す側線No. 0からNo. 29までの水深１m以上の範囲において行うものであり、下流の水深の深い断面から上流に向かって実施するものとします。

深浅測量の際には、機構が所有する船舶を使用できるものとします。

なお、船舶の燃料（レギュラーガソリン）は受注者にて準備するものとします。

１．艀装テスト

測量作業に先立ち艀装テストを行い、ＧＮＳＳ計器、測深機等の機器の調整等を行うものとします。

２．深浅測量

堆砂杭を基準としたＧＮＳＳ測位により船位を観測しながら、ナローマルチビーム測深器を用いた深浅測量により水深を測量するものとします。

計測密度は、湖底にて１mメッシュに１点以上とし、貯水池水中部の三次元計測

データの作成及び堆砂基準測線横断面図の作成に必要な計測を実施するものとします。

点検測量は、独立行政法人水資源機構公共測量作業規程第1編第13条第3項に基づき実施するものとし、点検測量率は、「地形測量及び写真測量（三次元点群データ作成）」を適用し5%とします。

(1) 作業数量

1) 池田ダム 1. 1 km²

3. データ整理

深淺測量終了後、計測データから水中ノイズを取り除き河床標高データを抽出し、1 m×1 mの格子標高データを作成するものとします。

3-5 河川横断測量

略

第4節 結果整理

4-1 縦横断面図作成

深淺測量及び河川横断測量によって得た地形データ及び調査要領に基づき、縦断面図及び横断面図を以下のとおり作成するものとします。

- ①平均、最深河床縦断面図 1断面（縮尺：縦1/200、横1/10,000）
平均、最深河床縦断面図（本川上流端） 1断面（縮尺：縦1/500、横1/5,000）
平均、最深河床縦断面図（祖谷川） 1断面（縮尺：縦1/500、横1/5,000）
平均、最深河床縦断面図（馬路川） 1断面（縮尺：縦1/200、横1/2,000）
- ②横断面図 60断面（縮尺：縦1/500、横1/500）

4-2 堆砂量算出等

1. 堆砂量及び貯水容量計算

貯水池における堆砂量計算・貯水容量計算は、死水容量・有効貯水容量・末端貯水容量毎に区分するものとします。

2. 現在洪水位計算

貯水池における現在洪水位計算は、洪水時満水位を出発水位として設計洪水流量を流した場合の洪水計算とし、背水計算は不等流計算手法によるものとします。

3. 堆砂状況調査表作成

堆砂状況調査表・平面図を作成するものとします。

なお、堆砂状況調査測線一覧表等の様式は、「ダムの堆砂状況調査要領（案）（平成17年6月29日 国土交通省河川局河川環境課）（以下「調査要領」という。）」によるものとします。

4. 等高線スライス法による堆砂量の算出

測量結果を等高線スライス法（標高ピッチ1 m以下）により整理し、有効貯水容

量内堆砂量、死水容量内堆砂量、低水管理容量内の堆砂量、貯水池全体の堆砂量等、「調査要領」の堆砂状況調査表を作成するために必要な数値を算出するものとする。ただし、スライス法により算出できない箇所については平均断面法によるものとする。

第5節 右岸法面クラック計測

「別添資料－1－2 右岸法面クラック計測範囲図」に示すダムサイト右岸法面のクラックの幅及び長さ等の状況を、「右岸法面クラック計測マニュアル（別添資料－1－3）」に基づき点検（確認）し、記録するものとします。

作成する記録資料：別添資料－1－4 右岸法面クラック一覧表

：別添資料－1－5 右岸法面クラック個表

第6節 水位計及び大気圧計データの回収

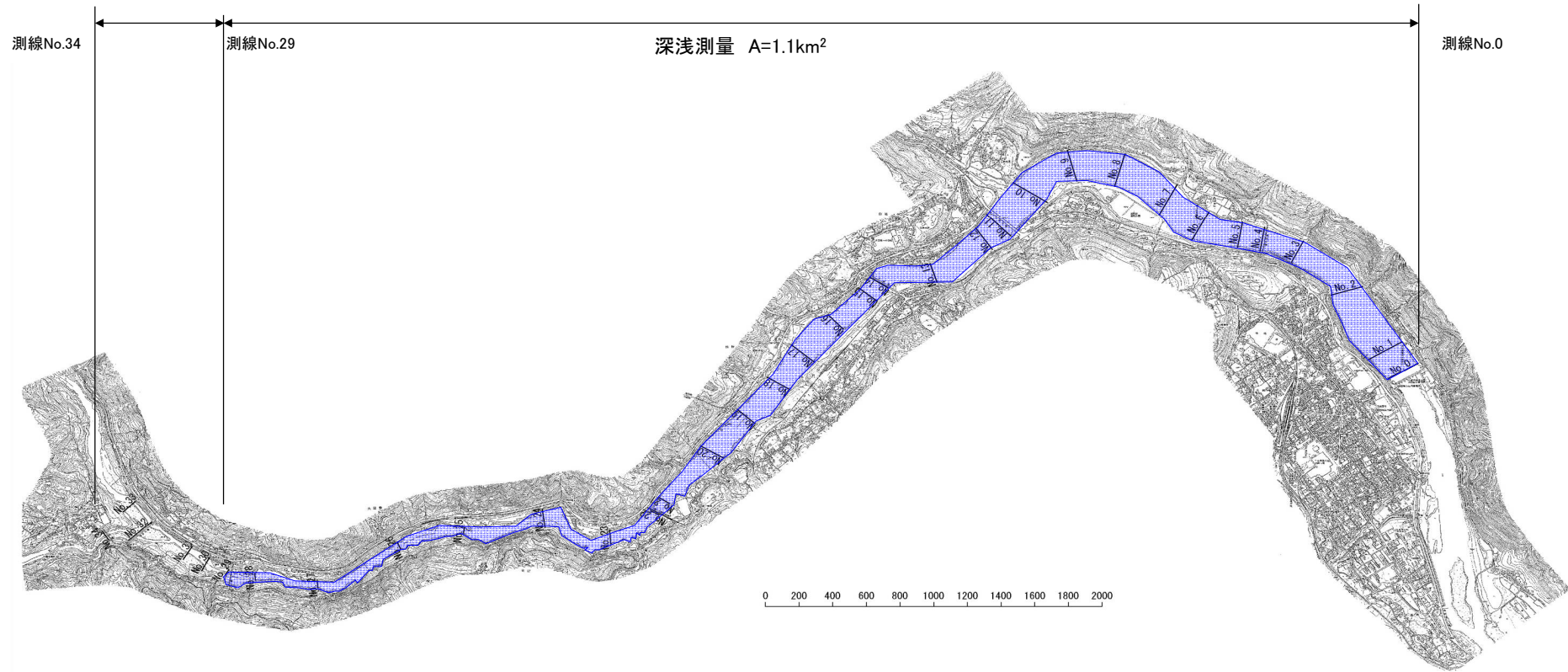
「別添資料－1－6 水位計及び大気圧計データ回収範囲図」に示す箇所（12箇所）において水位計及び大気圧計のデータを回収するものとする。水位計及び大気圧計は、以下のとおりとします。

※設置場所までに係る時間を除き、各機器からのデータ回収に要する時間のみを計上ください。

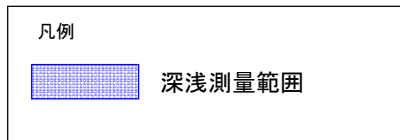
品 名	仕 様
水位センサー Rugged TROLL100	測定範囲 : 0~30m 精度(水位) : $\pm 0.1\%FS$ 分解能 : $\pm 0.01\%FS$ インターバル : 10分(ユーザー設定) 電池寿命 : 5年または200万測定の短い方
大気圧補正センサー Rugged Baro TROLL	測定範囲 : 7.0~30.0psi (0.5~2bar) 精度(水位) : $\pm 0.1\%FS$ 分解能 : $\pm 0.01\%FS$ インターバル : 10分(ユーザー設定) 電池寿命 : 5年または200万測定の短い方

－以上－

別添資料－1－1 池田ダム貯水池平面図

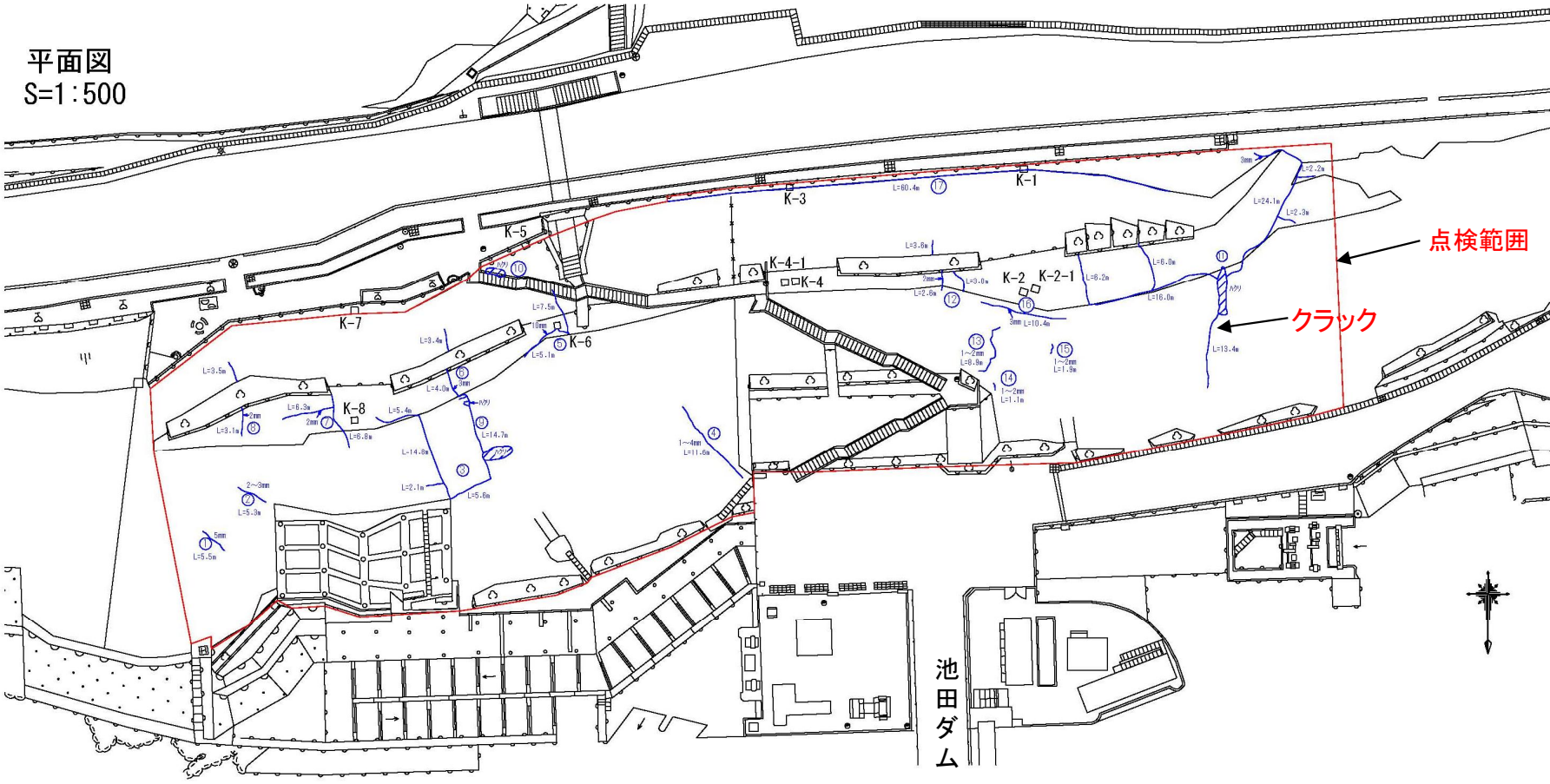


※ No.0から、No.34の測線は、河川横断測量の位置を示す。

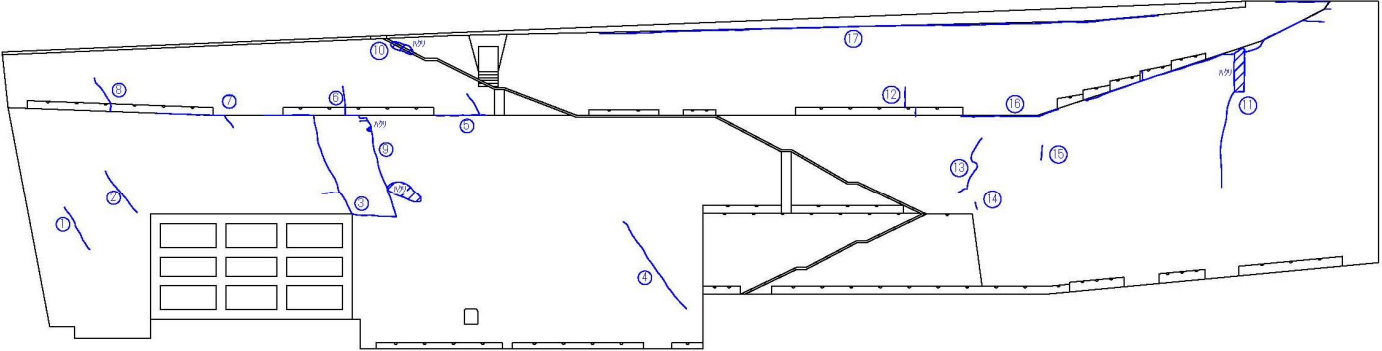


別添資料-1-2 右岸法面クラック計測範囲図

平面図
S=1:500



正面図
S=1:500



別添資料－１－３ 右岸法面クラック計測マニュアル

20170403 版

右岸法面クラック計測マニュアル

1. 点検の概要

右岸法面クラック計測は、小段部を含む右岸法面のクラック調査であり、前回調査と比較することにより、法面変状の兆候や吹付け材の損傷状況を把握するために実施するものである。

なお、この点検は平成 23 年 11 月より年 1 回を基本として実施している。

2. マニュアルの作成経緯

これまでに実施してきた右岸法面クラック計測は、クラック延長の両端及び幅を計測する位置が定まっておらず、初回の観測結果を参考に、概ね同じ値となる位置の計測を実施していた。しかし、この方法では点検者により誤差が生じる可能性が高く、クラックの進行について判断することが困難であるため、計測値の再現性を向上させるために本マニュアルを作成した。

3. 点検方法

1) 対象とするクラック（本点検における「クラック」の定義）

別添－１－２「右岸法面クラック計測範囲図」に示す点検範囲内の全クラックを対象とするが、点検は下記 2 種類に分別して実施する。

A：従前観測されているクラックについては、スケッチとして観測を継続

B：重点箇所として 3 箇所設け、その地点のクラックについては、幅、長さ等詳細に計測する

2) クラック延長、幅、段差の計測位置の明示について

・マーカーにより、延長、幅、段差の計測位置を明示する。

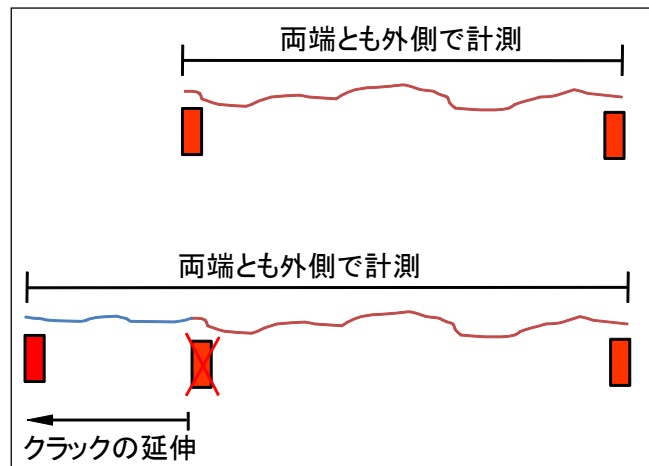
3) 点検等の器具及び点検時の注意点

(1) 延長

- ・計測前にクラック個表を確認し、延長や幅、段差の計測位置を把握しておくこと。
- ・移動に伴い、明示用のマーカーを消さないように注意すること。

(2) 幅：クラックスケール（透明）

- ・クラック幅は、監督員が貸与するクラックスケールによる計測を基本とする。
- ・計測前にクラック個表を確認し、延長や幅、段差の計測位置を把握しておくこと。
- ・移動に伴い、明示用のマーカーを消さないように注意すること。
- ・計測時は、マーカーで明示した「外側」（下図参照）を測ること。



(3)段差：クラックスケール（透明）

- ・クラック段差は、機構が貸与するクラックスケールによる計測を基本とする。
- ・クラックスケールにより計測が困難な場合は、監督員に協議すること。
- ・計測前にクラック個表を確認し、延長や幅、段差の計測位置を把握しておくこと。
- ・移動に伴い、明示用のマーカを消さないように注意すること。

4. 安全対策

- ・作業にあたっては、ヘルメット・安全靴・安全帯・手袋を着用し、転落等の事故が起こらないように細心の注意を払って点検を行う。
- ・法面下の道路へは、落下物等で一般行人及び一般車両等に危害を与えないよう見張り員を配置するなどの対策を講じ、法面下道路通行時は点検作業を一時中断し、安全を確保する。

5. とりまとめ。

1) 右岸法面クラック一覧表

- ・監督員が提供するデータに計測結果を入力すること。
- ・クラック延長の延伸や、幅、段差の広がり確認された箇所を備考欄に記載すること。

2) 右岸法面クラック個表

- ・監督員が提供するデータに計測結果を入力すること。
- ・クラック延長の延伸や、幅、段差の広がり確認された箇所は「記事」欄にコメントを記載すること。

6. 考察

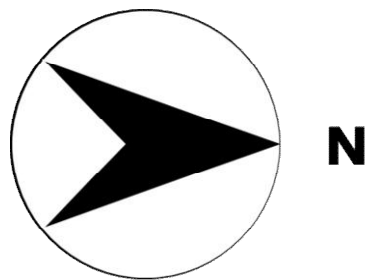
- ・クラック延長の延伸や、幅、段差の広がり規則性、関連性が見られるような傾向について、考察を行うものとする。

右岸法面クラック一覧表

クラック名		初回観測日	前回観測日	今回観測日	観測間隔		延長(m) or 縦幅(m)				幅(mm) or 横幅(m)				段差(mm)					備 考
					(初回)	(前回)	(初回)	(前回)	(今回)	(初回)	(前回)	(今回)	(初回)	(前回)	(今回)	(初回)	(前回)	(今回)		
					観測値	観測値	差	観測値	差	観測値	観測値	差	観測値	差	観測値	観測値	差	観測値	差	
①		平成23年11月25日	令和2年11月27日	当該年度の観測日を入力します。	3653日間	363日間	5.5	6.5	1.0	当該年度の測定値を入力し、データ整理しま	5.0	5.0	0.0	当該年度の測定値を入力し、データ整理しま						
②		平成23年11月25日	令和2年11月27日		3653日間	363日間	5.3	6.1	0.8		2.5	3.0	0.5							
③-1		平成23年11月25日	令和2年11月27日		3653日間	363日間	5.6	5.6	0.0		5.0	35.0	30.0							広がりを確認
③-2		平成23年11月25日	令和2年11月27日		3653日間	363日間	14.8	14.8	0.0		20.0	20.0	0.0							広がりを確認
③-2-1		平成23年11月25日	令和2年11月27日		3653日間	363日間	2.1	5.2	3.1		5.0	10.0	5.0							広がりを確認
③-3		平成23年11月25日	令和2年11月26日		3653日間	364日間	5.4	7.5	2.1		3.0	7.0	4.0							
④		平成23年11月25日	令和2年11月27日		3653日間	363日間	11.6	15.7	4.1		2.5	4.0	1.5							
⑤-1		平成23年11月25日	令和2年11月26日		3653日間	364日間	5.1	5.0	-0.1		10.0	12.0	2.0							
⑤-2		平成23年11月25日	令和2年11月26日		3654日間	365日間	7.5	11.3	3.8		4.0	5.0	1.0							
⑥-1		平成23年11月25日	令和2年11月26日		3653日間	364日間	4.0	4.6	0.6		3.0	2.0	-1.0							
⑥-2		平成23年11月25日	令和2年11月27日		3654日間	364日間	3.4	10.3	6.9		1.0	3.0	2.0							
⑦		平成23年11月25日	令和2年11月27日		3653日間	363日間	6.8	8.5	1.7		2.0	3.0	1.0							
⑦-1		平成23年11月25日	令和2年11月27日		3654日間	364日間	6.3	7.5	1.2		2.0	5.0	3.0							
⑧-1		平成23年11月25日	令和2年11月27日		3653日間	363日間	3.1	4.5	1.4		2.0	2.0	0.0							
⑧-2		平成23年11月25日	令和2年11月27日		3653日間	363日間	3.5	4.2	0.7		1.5	1.0	-0.5							
⑨-1		平成23年11月25日	令和2年11月27日		3653日間	363日間	14.7	15.1	0.4		3.0	4.0	1.0							
⑨-2		平成26年06月02日	令和2年11月27日		2733日間	363日間	1.1	1.1	0.0		2.2	2.2	0.0		120.0	120.0	0.0	当該年度の測定値を入力し、		
⑩-1		平成27年11月20日	令和2年11月27日		2198日間	364日間	0.8	0.8	0.0		2.7	2.7	0.0		90.0	90.0	0.0			
⑩-2		平成27年11月20日	令和2年11月27日		2197日間	363日間	0.4	0.5	0.1		0.9	1.1	0.2		30.0	30.0	0.0			
⑪-1		平成23年11月25日	令和2年11月26日		3654日間	365日間	24.1	24.1	0.0		3.0	5.0	2.0							
⑪-1-1		平成23年11月25日	令和2年11月26日		3654日間	365日間	2.3	2.5	0.2		3.0	4.0	1.0							
⑪-1-2		平成23年11月25日	令和2年11月26日		3654日間	365日間	2.2	2.2	0.0		3.0	7.0	4.0							
⑪-2		平成23年11月25日	令和2年11月26日		3654日間	365日間	16.0	16.2	0.2		3.0	4.0	1.0							
⑪-2-1		平成23年11月25日	令和2年11月26日		3654日間	365日間	6.0	6.4	0.4		3.0	4.0	1.0							
⑪-2-2		平成23年11月25日	令和2年11月26日		3654日間	365日間	6.2	6.2	0.0		5.0	5.0	0.0							
⑪-3		平成23年11月25日	令和2年11月27日		3653日間	363日間	13.4	14.2	0.8		3.0	5.0	2.0							
⑪-4		平成27年11月20日	令和2年11月27日		2197日間	363日間	6.0	6.1	0.1		1.1	1.1	0.0							
⑫-1		平成23年11月25日	令和2年11月26日		3654日間	365日間	2.6	2.6	0.0		2.0	3.0	1.0							
⑫-2		平成23年11月25日	令和2年11月26日		3654日間	365日間	3.0	3.0	0.0		1.0	1.0	0.0							
⑫-3		平成23年11月25日	令和2年11月26日		3653日間	364日間	3.6	6.3	2.7		2.0	2.0	0.0							
⑬		平成23年11月25日	令和2年11月27日		3653日間	363日間	8.9	9.1	0.2		1.5	2.0	0.5							
⑭		平成23年11月25日	令和2年11月27日		3653日間	363日間	1.1	2.2	1.1		1.5	5.0	3.5							
⑮		平成23年11月25日	令和2年11月27日		3653日間	363日間	1.9	10.1	8.2		1.5	3.0	1.5							
⑯		平成23年11月25日	令和2年11月27日		3654日間	364日間	10.4	18.0	7.6		3.0	5.0	2.0							
⑰	幅1	平成23年11月25日	令和2年11月26日		3654日間	365日間	60.4	60.7	0.3		3.0	2.0	-1.0							
	幅2	平成27年11月20日	令和2年11月26日		2198日間	365日間					4.0	7.0	3.0							
	幅3	平成27年11月20日	令和2年11月26日		2198日間	365日間					4.0	5.0	1.0							
	幅4	平成27年11月20日	令和2年11月26日		2198日間	365日間					2.0	3.0	1.0							
	幅5	平成27年11月20日	令和2年11月26日		2198日間	365日間					2.0	4.0	2.0							

右岸法面クラック個表		クラック名	①	1/2	右岸法面クラック個表		クラック名	①	2/2																				
【位置図】					観測年月日					延長 (m)	差 (前回)	差 (初回)	幅 (mm)	差 (前回)	差 (初回)	段差 (mm)	差 (前回)	差 (初回)	備考										
					平成23年11月25日	5.5	—	—	5	—	—								初観測（段差未観測）										
					平成24年11月30日	5.4	-0.1	-0.1	5	0	0																		
					平成25年11月22日	5.4	0.0	-0.1	5	0	0																		
					平成26年06月02日	5.4	0.0	-0.1	5	0	0																		
					平成26年11月04日	5.4	0.0	-0.1	5	0	0																		
					平成27年11月20日	5.5	0.1	0.0	4	-1	-1																		
					平成28年11月17日	6.5	1.0	1.0	5	1	0																		
					平成29年11月17日	6.5	0.0	1.0	6	1	1																		
					平成30年11月15日	6.5	0.0	1.0	6	0	1																		
					令和元年12月6日	6.5	0.0	1.0	6	0	1																		
【拡大図】					【遠景写真】																								
【クラック測定箇所 遠景写真】					【クラック測定箇所 近景写真】															記事									
【上端 遠景写真】					【下端 遠景写真】																								

水位計及び大気圧計データ回収範囲図



水位計設置例(陸上部)



水位計設置例(水上部)

データ回収箇所		
●	: 水位計設置地点 (陸上部)	3箇所
●	: 水位計設置地点 (水上部)	7箇所
●	: 大気圧補正センサ設置地点 (陸上部)	2箇所

別添資料－2

■以下の項目に関して、作成願います。

■各作業面積は、総括表の数量を標準とします。また、面積増減による補正を行う場合に、面積比例以外の補正係数、補正計算等を考慮する必要がある場合は、考え方等(補正係数、計算式等)を備考欄に記載願います。

総括表

項目	工種	種別	細別	規格	単位	数量	単価	金額	備考
応用測量	堆砂測量	作業計画	作業計画		式	1			見積対象外
			現地踏査		式	1			見積対象外
		深浅測量 (ナローマルチビーム)	艀装テスト		式	1			内-1
			深浅測量		km2	1.1			内-2
			データ整理		km2	1.1			内-3
		結果整理	縦横断面図作成		式	1			内-4
			堆砂量算出等		式	1			内-5
		河川横断測量	河川横断測量A		本	30			見積対象外
			河川横断測量B		本	19			見積対象外
			河川横断測量C		本	11			見積対象外
	堤体等観測	堤体等観測	右岸法面クラック計測		式	1			内-6
水文観測	水位計計測	水位計計測	水位計及び大気圧計データの回収		式	1			内-7

以下、各作業歩掛の項目について、業務に必要な機械及び材料等、項目を追加する場合は、任意で項目及び数量追加していただいてもかまいません。

内-1

深浅測量—艤装テスト

1式当り

	単位	数量	単価	金額	備考
直接人件費※1	式				
測量主任技師	人				
測量技師	人				
測量技師補	人				
測量助手	人				
測量補助員	人				
測量船操縦士	人				
機械経費※2	式				直接人件費の○%
通信運搬費※2	式				直接人件費の○%
材料費※2※3	式				直接人件費の○%
精度管理費	式				精度管理費係数○
合計(金額)					

※1 直接人件費は必要に応じた技術者(測量主任技師、測量技師等)を計上してください。

※2 機械経費、材料費等は必要に応じて個別又は直接人件費の割合で計上してください。

※3 材料費には船舶燃料(レギュラーガソリン)を含みます。

内-2

深浅測量－深浅測量

1.1km2当り

	単位	数量	単価	金額	備考
直接人件費 ^{※1}	式				
測量主任技師	人				
測量技師	人				
測量技師補	人				
測量助手	人				
測量補助員	人				
測量船操縦士	人				
機械経費 ^{※2}	式				直接人件費の○%
通信運搬費 ^{※2}	式				直接人件費の○%
材料費 ^{※2※3}	式				直接人件費の○%
精度管理費	式				精度管理費係数○
合計(金額)					

※1 直接人件費は必要に応じた技術者(測量主任技師、測量技師等)を計上してください。

※2 機械経費、材料費等は必要に応じて個別又は直接人件費の割合で計上してください。

※3 材料費には船舶燃料(レギュラーガソリン)を含みます。

内-3

深浅測量－データ整理

1.1km2当り

		歩掛	単価	金額	備考
直接人件費 ^{※1}	式				
測量主任技師	人				
測量技師	人				
測量技師補	人				
測量助手	人				
測量補助員	人				
機械経費 ^{※2}	式				直接人件費の○%
材料費 ^{※2}	式				直接人件費の○%
精度管理費	式				精度管理費係数○
合計(金額)					

※1 直接人件費は必要に応じた技術者(測量主任技師、測量技師等)を計上してください。

※2 機械経費、材料費等は必要に応じて個別又は直接人件費の割合で計上してください。

内-4

結果整理－縦横断面図作成

1式当り

		歩掛	単価	金額	備考
直接人件費※ ¹	式				
測量主任技師	人				
測量技師	人				
測量技師補	人				
測量助手	人				
測量補助員	人				
機械経費※ ²	式				直接人件費の○%
材料費※ ²	式				直接人件費の○%
精度管理費	式				精度管理費係数○
合計(金額)					

※¹ 直接人件費は必要に応じた技術者(測量主任技師、測量補助員等)を計上してください。

※² 機械経費、材料費等は必要に応じて個別又は直接人件費の割合で計上してください。

内-5

結果整理－堆砂量算出等

1式当り

	単位	数量	単価	金額	備考
直接人件費※ ¹	式				
測量主任技師	人				
測量技師	人				
測量技師補	人				
測量助手	人				
測量補助員	人				
機械経費※ ²	式				直接人件費の○%
材料費※ ²	式				直接人件費の○%
精度管理費	式				精度管理費係数○
合計(金額)					

※¹ 直接人件費は必要に応じた技術者(測量主任技師、測量技師等)を計上してください。

※² 機械経費、材料費等は必要に応じて個別又は直接人件費の割合で計上してください。

内-6

堤体等観測－右岸法面クラック計測

1式当り

		歩掛	単価	金額	備考
直接人件費※1	式				
測量主任技師	人				
測量技師	人				
測量技師補	人				
測量助手	人				
測量補助員	人				
機械経費※2	式				直接人件費の○%
材料費※2	式				直接人件費の○%
精度管理費	式				精度管理費係数○
合計(金額)					

※1 直接人件費は必要に応じた技術者(測量主任技師、測量技師等)を計上してください。

※2 機械経費、材料費等は必要に応じて個別又は直接人件費の割合で計上してください。

水位計計測－水位計及び大気圧計のデータ回収

1式(12箇所当り)

		歩掛	単価	金額	備考
直接人件費※1	式				
測量主任技師	人				
測量技師	人				
測量技師補	人				
測量助手	人				
測量補助員	人				
機械経費※2	式				直接人件費の○%
材料費※2	式				直接人件費の○%
精度管理費	式				精度管理費係数○
合計(金額)					

※1 直接人件費は必要に応じた技術者(測量主任技師、測量技師等)を計上してください。

※2 機械経費、材料費等は必要に応じて個別又は直接人件費の割合で計上してください。